

2025年5月30日

2025年3月期 決算説明会資料

目次

- 連結損益計算書
- 営業利益の増減要因
- 連結業績の推移
- 連結業績の四半期推移
- 各セグメントの事業内容と売上構成割合
- 各セグメントの所在地別損益
- 各セグメント売上高の所在地別割合
- 営業外損益・特別損益
- 設備投資の状況
- 研究開発の強化

- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー
- 配当方針と株主還元
- 来期業績予想と中計目標の達成見込み
- 資本効率と企業価値の向上

(参考資料)

- 業績ハイライト
- 主要関係会社一覧

連結損益計算書

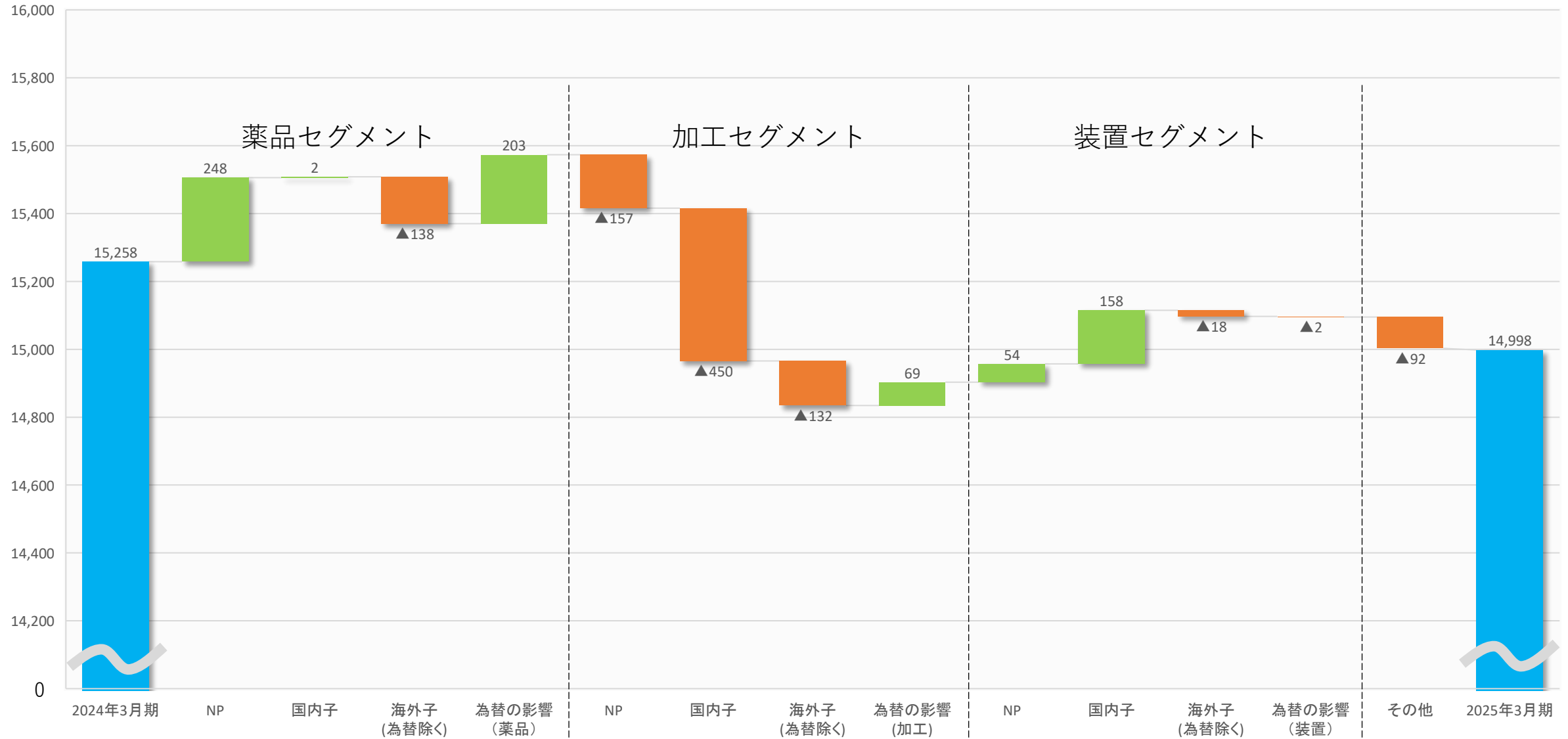
(単位：百万円)

項目	2024/3	2025/3	増減	増減率	
売上高	125,085	132,281	7,196	5.8%	自動車生産台数は国内外で計画を下回るも、前年比では販売数量がゆるやかに回復し、全セグメントで増収
営業利益	15,258	14,998	-259	-1.7%	原材料や鋼材価格の高止まりやインフレに伴うコストの上昇により減益
経常利益	19,945	19,936	-9	-0.0%	営業外収益 5,690百万円（持分法利益1,825百万円他） 営業外費用 753百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	13,194	13,112	-81	-0.6%	特別利益 1,186百万円（投資有価証券売却益1,012百万円他） 特別損失 1,420百万円（事業構造改善費用 1,159百万円他）
1株当たり利益	114.43円	112.20円	-	-	
総資産経常利益率	7.9%	7.4%	-	-	
自己資本利益（ROE）	7.5%	6.9%	-	-	
期中平均レート（USD）	140.56円	151.58円	-	-	※前期：2023/1～2023/12の期中平均換算レート ※当期：2024/1～2024/12の期中平均換算レート

- 海外売上高比率（日本からの輸出を含む）：46.4%
- 為替換算による影響：売上高 約+3,043百万円、営業利益 約+269百万円

営業利益の増減要因

(単位：百万円)

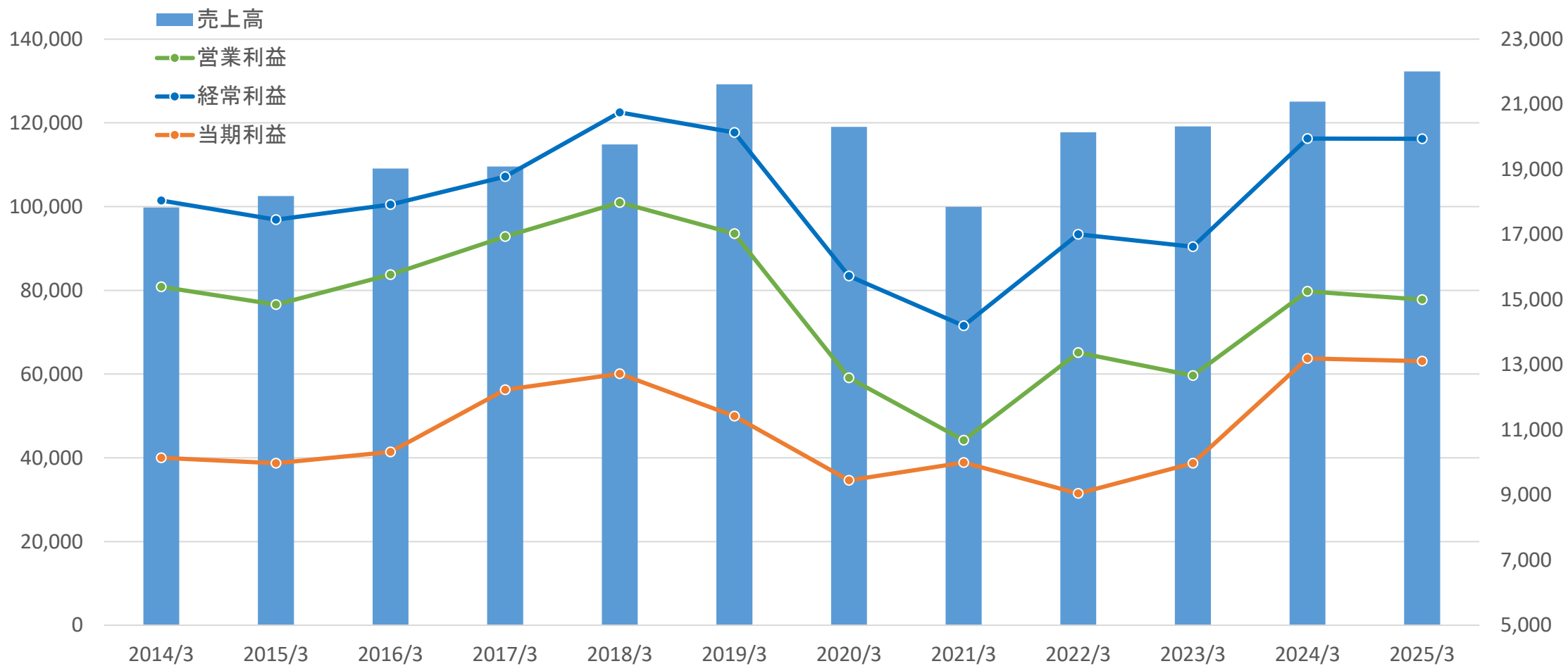


連結業績の推移

(単位：百万円)

(売上高)

(利益)



第1次

第2次

第3次

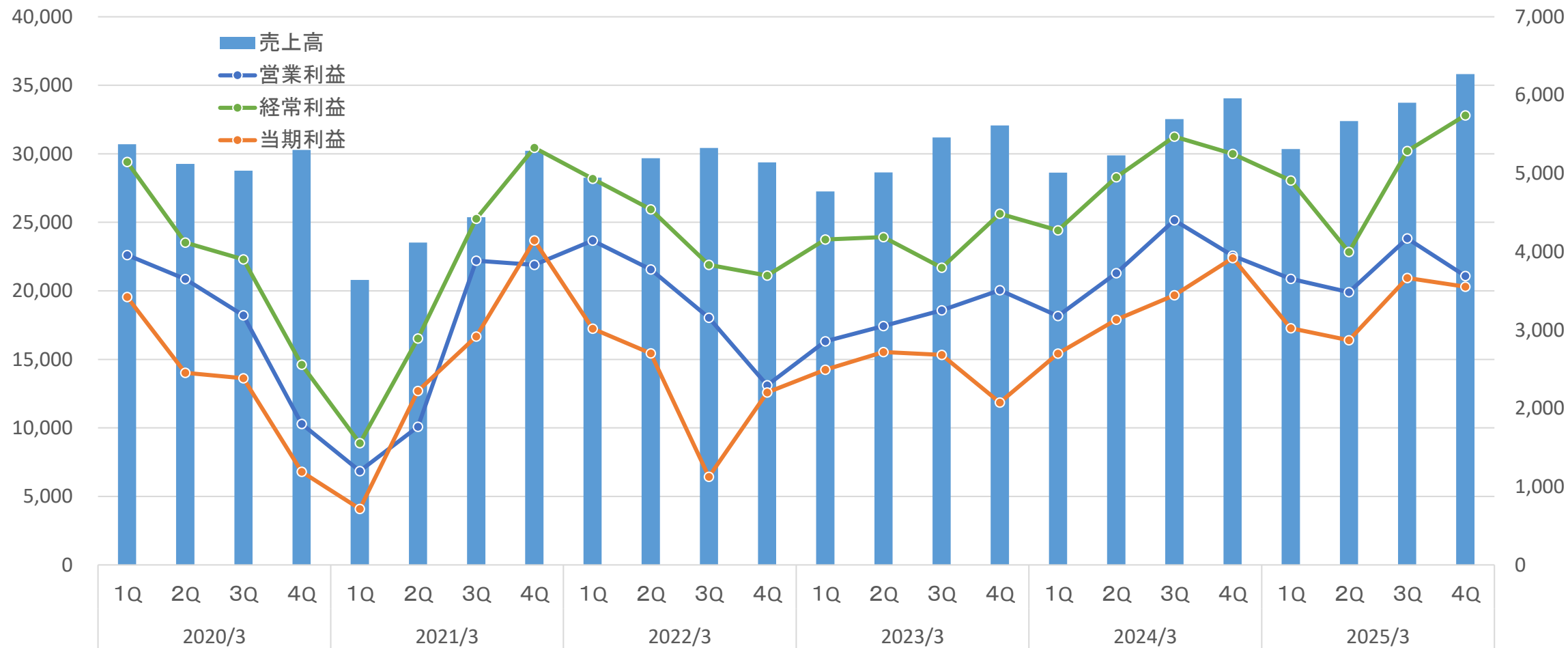
第4次中計

連結業績の四半期推移

(単位：百万円)

(売上高)

(利益)

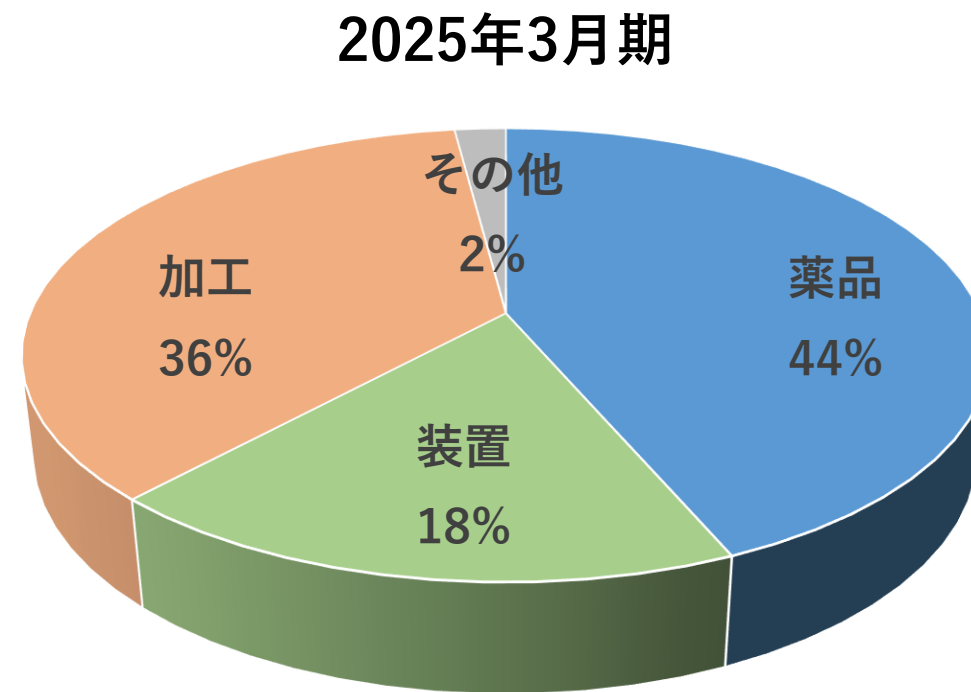


第3次

第4次中計

各セグメントの事業内容と売上構成割合

セグメント	主な事業内容
薬品	<ul style="list-style-type: none"> ● 塗装下地 ● 金属防錆 ● 潤滑被膜 ● 圧延油 ● 防錆油 ● 無電解Niめっき液 ● その他機能性被膜薬剤
装置	<ul style="list-style-type: none"> ● 前処理装置、電着装置 ● 排水処理装置 ● 塗装装置・ロボット ● 塗装ブース・空調設備 ● 粉体塗装 ● コンベヤシステム ● その他規格品・消耗品
加工	<ul style="list-style-type: none"> ● 化成処理 ● 塩浴軟室化 ● ガス浸炭・浸炭窒化 ● ガス軟室化 ● 無電解Niめっき ● 固体潤滑 ● その他加工処理
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物のメンテナンス工事 ● 医療機器 ● その他



連結売上高
132,281百万円

各セグメントの所在地別損益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2024/3	2025/3	増減	2024/3	2025/3	増減
日本	32,215	32,284	69	4,994	5,245	250
アジア	23,046	24,262	1,216	4,010	4,091	81
欧米	1,008	1,069	61	247	231	-16
セグメント間売上等	1,402	1,379	-22	810	772	-38
薬品	57,671	58,996	1,324	10,062	10,340	278
日本	8,566	16,003	7,436	11	224	212
アジア	9,298	7,617	-1,680	137	111	-26
欧米	1,284	585	-698	74	79	5
セグメント間売上等	470	479	9	303	269	-33
装置	19,620	24,686	5,066	527	685	158
日本	25,690	24,944	-745	3,870	3,261	-608
アジア	12,642	12,701	58	1,551	1,455	-96
欧米	8,489	10,108	1,618	41	74	32
セグメント間売上等	41	51	9	261	226	-35
加工	46,864	47,805	940	5,724	5,016	-707
その他	2,877	2,846	-31	90	75	-15
調整	-1,948	-2,052	-103	-1,146	-1,120	26
合計	125,085	132,281	7,196	15,258	14,998	-259

(注) 各セグメントの売上高及び営業利益は、セグメント間の内部売上高及び振替高を含みます。

■薬品

- 日本では鉄鋼分野を中心に、販売数量が緩やかな回復基調で推移。中国およびインドでの販売拡大も寄与し、売上高は前年比増。
- 原材料価格は高値圏での推移が継続しておりますが、売上高の増加により営業利益は前年比増。

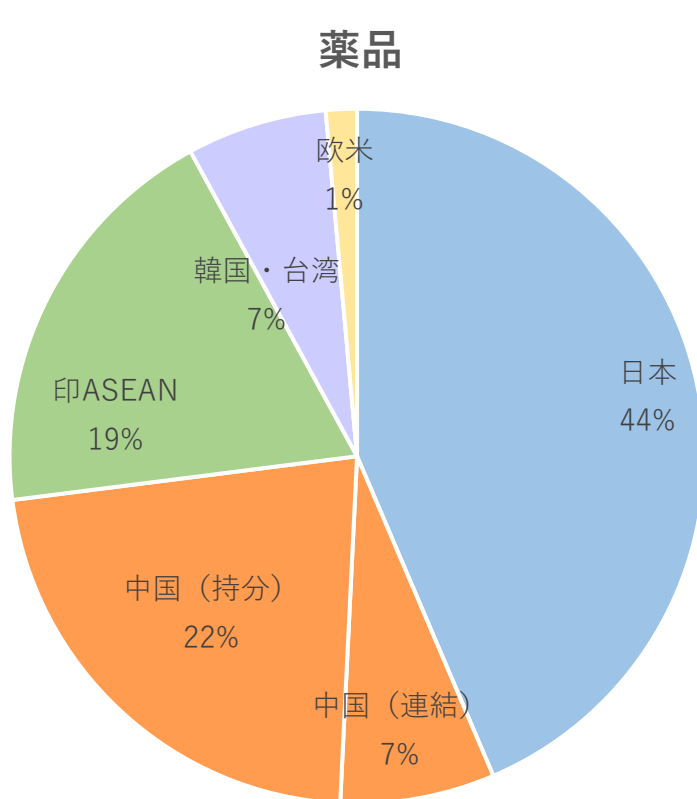
■装置

- 中国では大型案件の減少等の影響もあり販売が伸び悩みましたが、インドでの売上拡大のほか、企業の設備投資が堅調に推移した国内でも売上高が増加。
- 装置事業全体では増収増益。

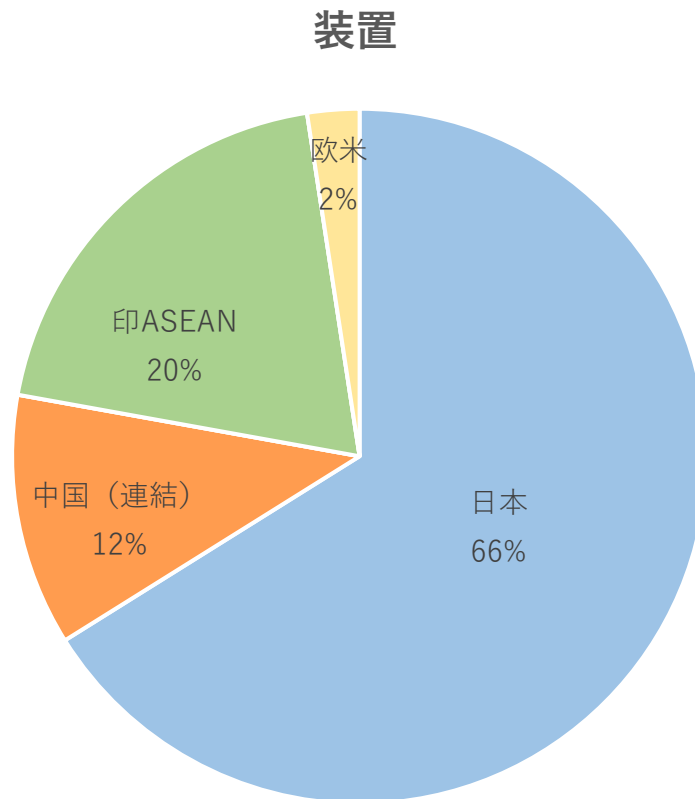
■加工

- 自動車生産台数が前年より減少した国内やタイ、日系自動車メーカーの販売が伸び悩んだ中国では売上高が減少。
- インフレに伴う労務費・経費の増加等により収益性が低下し、営業利益は減益。

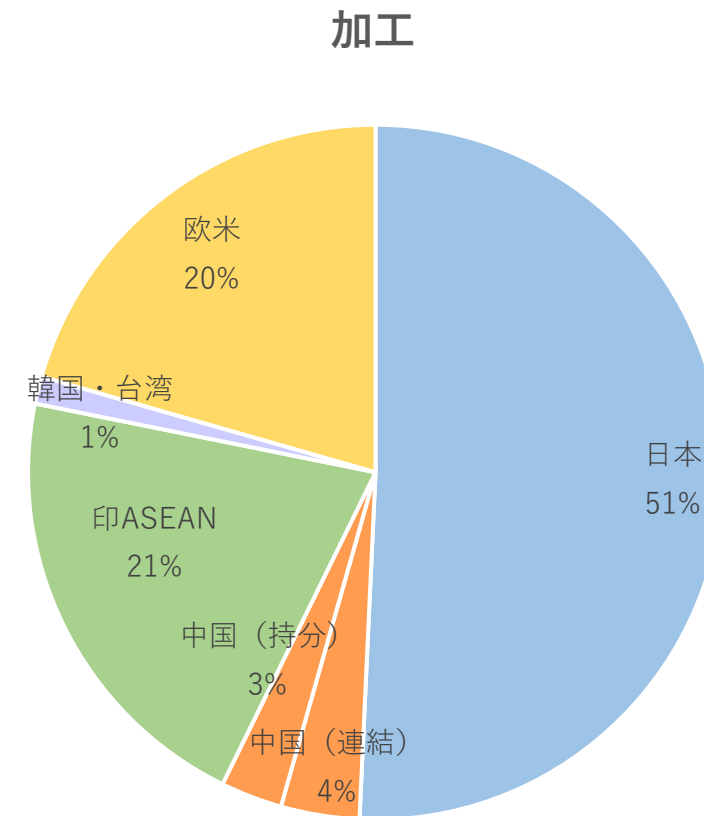
各セグメント別・リージョン別売上構成割合（※中国持分法適用会社の売上高を含む）



連結子会社 57,616百万円
持分法会社 16,456百万円



連結子会社 24,206百万円
持分法会社 -百万円



連結子会社 47,753百万円
持分法会社 1,409百万円

リージョナル経営の推進 ～ グループ連携の強化×海外事業拡大 ～

営業外損益及び特別損益

- 受取利息及び受取配当金に加えて、国内及び中国の関連会社に対する持分法による投資利益及び受取技術料などを計上した結果、経常利益は19,936百万円となりました。
- 特別利益1,186百万円（うち投資有価証券売却益1,012百万円）、特別損失1,420百万円（うち事業構造改革費用1,159百万円）などを計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は13,112百万円となりました。

(単位：百万円)

	2024/3	2025/3	増減
営業利益	15,258	14,998	-260
営業外収益合計	5,527	5,690	+163
受取利息	786	1,069	+283
受取配当金	655	802	+147
受取技術料	795	791	-4
持分法による投資利益	1,176	1,825	+649
その他	2,113	1,201	-912
営業外費用合計	839	753	-86
支払利息	12	17	+5
その他	827	734	-93
経常利益	19,945	19,936	-9
特別利益	1,501	1,186	-315
特別損失	511	1,420	+909
税金等調整前当期純利益	20,935	19,702	-1,233
法人税等	5,407	5,514	+107
非支配株主に帰属する当期純利益	2,333	1,075	-1,258
親会社株主に帰属する当期純利益	13,194	13,112	-82

中国・台湾地域からの収益

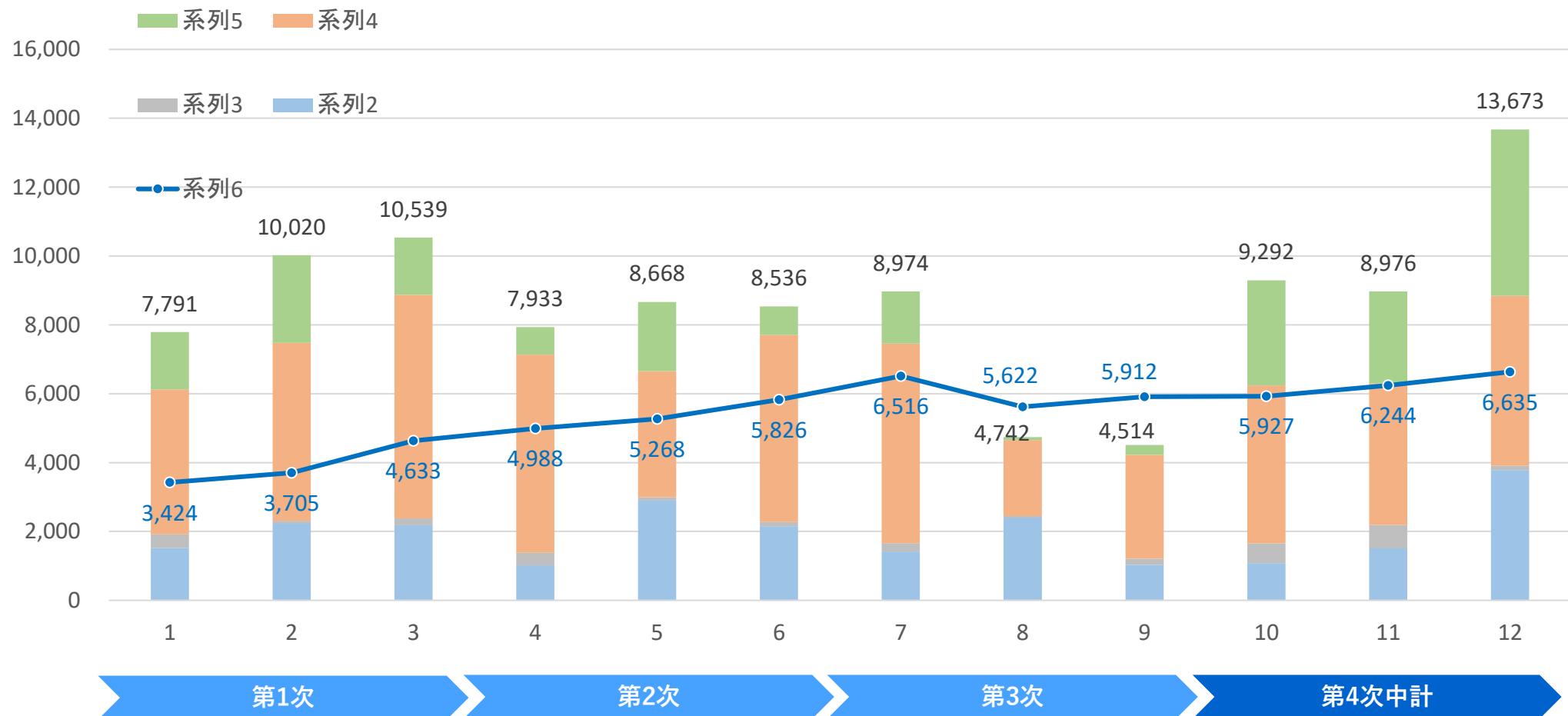
	2024/3	2025/3	増減
営業利益	688	372	-316
受取技術料	239	243	+4
持分法利益	621	749	+127
合計	1,548	1,365	-183

投資有価証券売却益 1,012百万円他

事業構造改善費用（中国加工事業設備減損） 1,159百万円他

設備投資の状況(有形及び無形固定資産の増加額)

(単位：百万円)

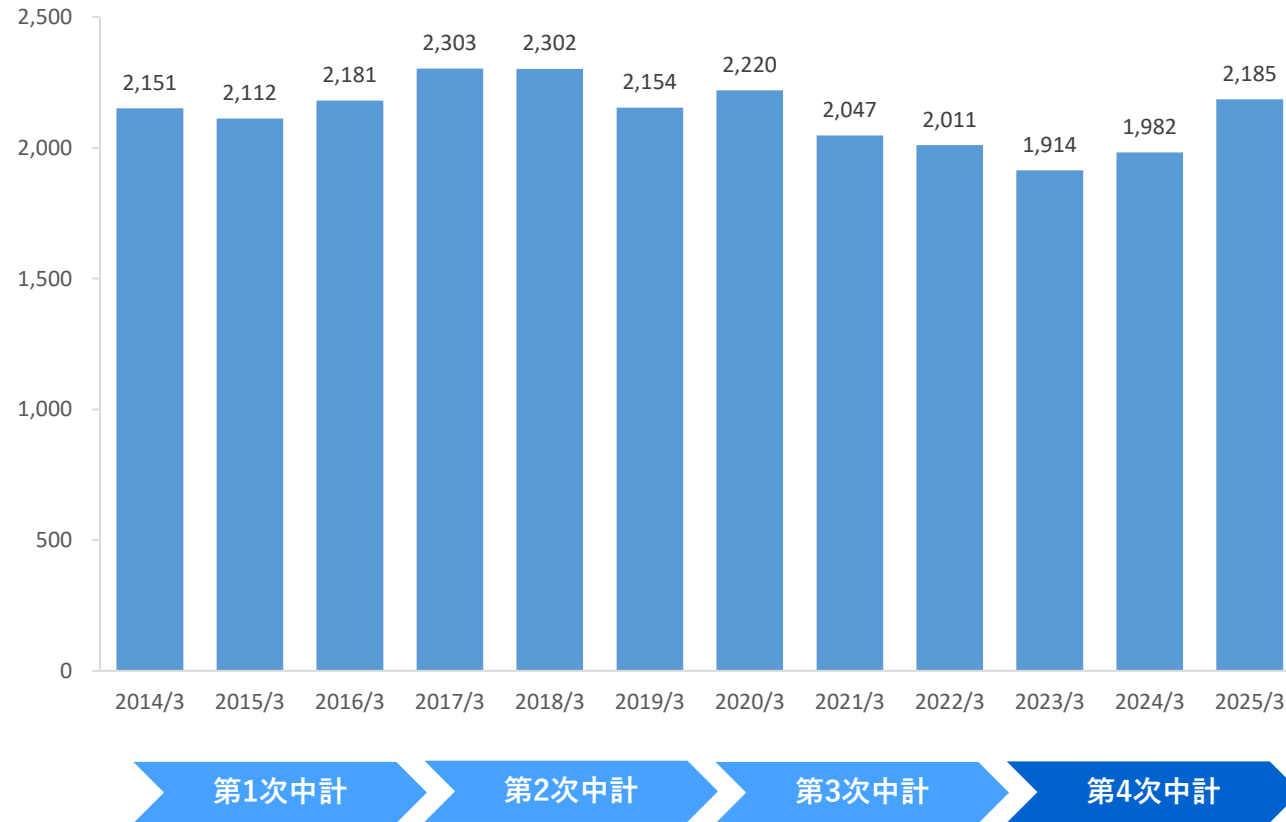


- 新総合技術研究所を2025年4月に開所
- 通常の保守に加えて、工場の自動化・省人化など、持続的成長に向けた基盤作りのための投資を実行

研究開発の強化

(単位：百万円)

研究開発費の推移



総合技術研究所には130名超が在籍しており、約20億円を継続的に研究開発に投資

- 当社コアテクノロジーを利用し、金属防錆処理以外の様々な技術開発
- 環境対応型製品の開発(クロムフリー、リンフリー、スラッジ削減、廃液処理負担軽減など)
- CO2削減や省エネなど、環境に貢献する表面処理技術の開発
- 医療機器など新規分野への参入 (2023年2月に、第一種医療機器製造販売業を取得)

新総合技術研究所の開所 (2025年4月)

新総合技術研究所に「先端技術研究部」と「コア技術研究部」を設置

- 脱炭素社会の実現など、社会課題の解決に貢献する表面改質技術の開発
- EV化や次世代自動車向け技術の開発
- 医療など新規分野の開拓に向けた技術開発の強化
- 海外現地ニーズに適合した技術開発



連結貸借対照表

(単位：百万円)

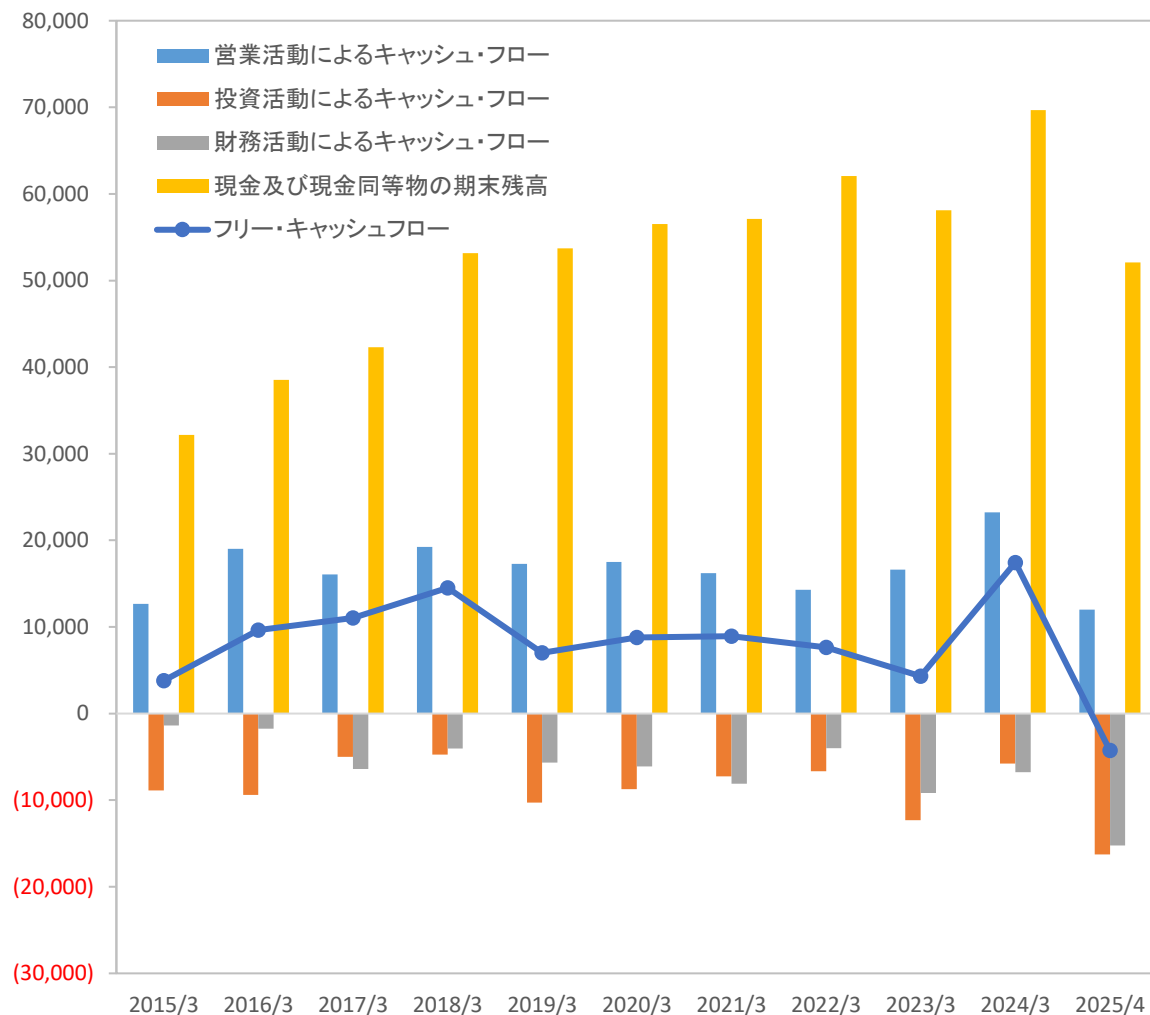
	2024/3	2025/3	増減	
流動資産	146,511	137,868	-8,643	現金預金 - 12,373百万円
固定資産合計	123,307	129,381	+6,074	
有形無形固定資産	68,579	75,848	7,269	取得 + 13,673百万円、減価償却 - 6,635
投資その他の資産	54,727	53,532	-1,195	投資有価証券 - 898百万円
資産合計	269,819	267,250	-2,569	
流動負債	38,710	32,617	-6,093	支払手形及び買掛金 - 3,294百万円、未払法人税等 - 1,681百万円
固定負債	11,223	11,334	+111	
負債合計	49,933	43,951	-5,982	
純資産合計	219,885	223,298	+3,413	
株主資本	159,048	165,531	+6,483	当期利益 + 13,112百万円、自己株式 - 2,301百万円、配当 - 5,288百万円
その他包括利益	28,098	29,687	+1,589	
非支配株主持分	32,738	28,080	-4,658	
負債純資産合計	269,819	267,250	-2,569	
自己資本比率	69.4%	73.0%		自己資本比率は安定的に推移

※自己資本比率 = (純資産合計 - 非支配株主持分) / 負債純資産合計

連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

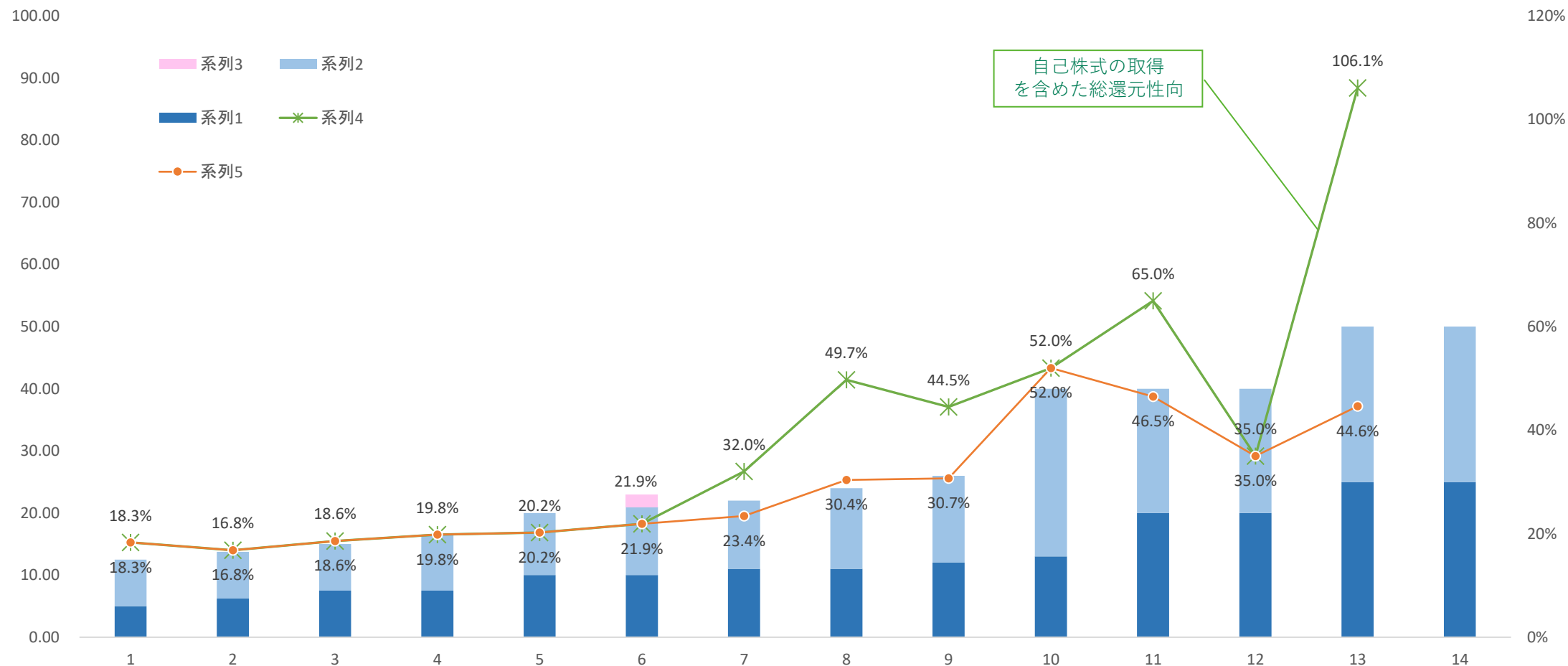
	2024/3	2025/3
営業活動によるキャッシュフロー	22,776	12,010
税金等調整前当期純利益	20,935	19,702
減価償却費	6,244	6,635
その他	-4,404	-14,327
投資活動によるキャッシュフロー	-5,784	-16,283
有形固定資産の取得による支出	-7,422	-11,127
その他	1,637	-5,156
財務活動によるキャッシュフロー	-6,778	-15,227
配当金の支払	-4,731	-5,420
被支配株主への配当支払	-1,260	-1,196
自己株式の取得による支出	-187	-8,062
その他	-599	-547
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,350	1,937
現金及び現金同等物の増減額	11,562	-17,563
現金及び現金同等物の期首残高	58,098	69,661
現金及び現金同等物の期末残高	69,661	52,097



- 設備投資による支出や、自己株式の取得による支出が増加したことにより、期末残高は減少
- 当期は、設備投資の増加などにより、フリー・キャッシュ・フロー（「営業CFによる収入」－「投資活動によるCFによる支出」）はマイナス

配当方針と株主還元

- 安定的かつ継続的に配当を行うとともに、内部留保の有効活用によって株主価値を向上
- 配当については、業績動向、将来の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案し、連結配当性向30%程度を目安に決定
- なお、成長のための投資資金及び財務基盤の安定性がある程度確保されたと判断し、**当面の間は配当方針を上回る配当を実施**
- 将来の ROE など資本効率を高めるために、自己株式取得を機動的に実施



来期業績予想と中計目標の達成見込み

(単位：百万円)

	A 実績 2025/3	B 予想 2025/3	B-A 前期との 差額
売上高	132,281	131,000	-1,281
営業利益	14,998	14,000	-998
経常利益	19,936	18,500	-1,436
親会社株主に帰属する当期純利益	13,112	12,000	-1,112
営業利益率	11.3%	10.6%	-
経常利益率	15.0%	14.1%	-
想定レート(US\$)	151.58円/ドル	145.00円/ドル	-

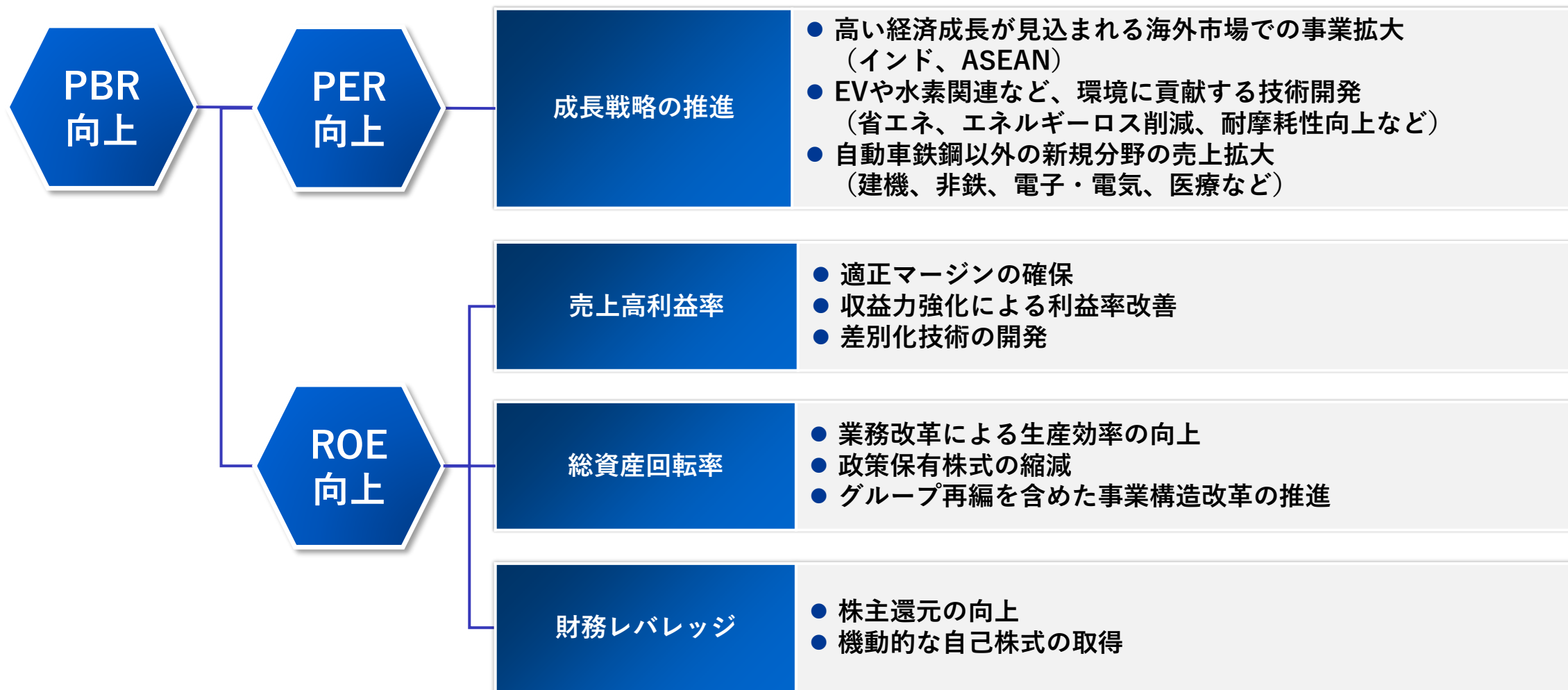
日本では、好調な企業収益を背景とした賃上げや設備投資の拡大が見込まれるなど、景気は緩やかな回復基調で推移すると思われます。また、海外では、高い経済成長率が見込まれるインドアセアン地域が牽引する形で、中長期的には、緩やかな成長が持続するものと予想されます。

その一方で、資源及びエネルギー価格の高騰、インフレ圧力の継続、米中貿易摩擦の激化による景気減速懸念などリスク要因も多く、経済環境は依然先行き不透明な状況が続くものと思われます。

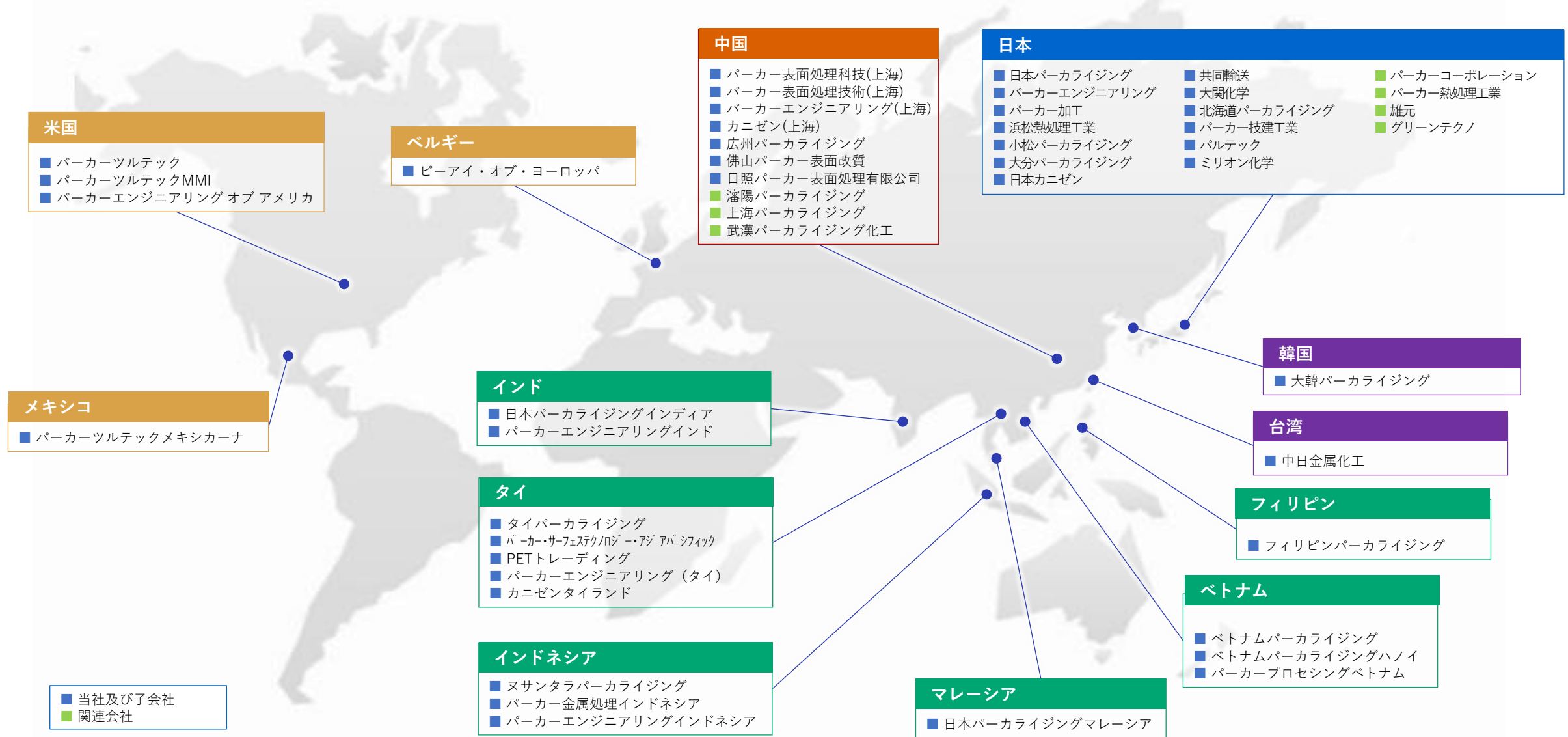
このような事業環境を考慮し、2025年3月期の業績予想につきましては、全体で売上高は1,310億円で計画しております。

既存事業からの安定的なキャッシュフローの創出と

成長市場及び新規分野への参入拡大により、企業価値の向上を目指す！



リージョナル経営の推進 ~ グループ連携の強化×海外事業拡大 ~



業績ハイライト

(単位：百万円)

	第1次			第2次			第3次			第4次中計		
	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	99,793	102,514	109,063	109,569	114,840	129,207	119,028	99,918	117,752	119,177	125,085	132,281
営業利益	15,393	14,850	15,766	16,934	17,984	17,023	12,601	10,681	13,370	12,668	15,258	14,998
経常利益	18,046	17,453	17,921	18,779	20,750	20,130	15,723	14,197	17,003	16,625	19,945	19,936
親会社株主に帰属する当期純利益	10,142	9,975	10,320	12,228	12,721	11,424	9,449	9,999	9,046	9,973	13,194	13,112
売上高営業利益率	15.4%	14.5%	14.5%	15.5%	15.7%	13.2%	10.6%	10.7%	11.4%	10.6%	12.2%	11.3%
売上高経常利益率	18.1%	17.0%	16.4%	17.1%	18.1%	15.6%	13.2%	14.2%	14.4%	13.9%	15.9%	15.1%
総資産経常利益率	11.5%	9.9%	9.5%	9.7%	10.0%	9.2%	7.2%	6.5%	7.6%	7.1%	7.9%	7.4%
自己資本利益率 (ROE)	11.1%	9.4%	8.9%	10.2%	9.7%	8.2%	6.7%	6.8%	5.8%	6.1%	7.5%	6.9%
自己資本比率	59.5%	61.1%	61.5%	62.5%	62.9%	64.2%	66.1%	68.8%	70.0%	70.3%	69.4%	73.0%

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、a) 経済状況、b) 為替レートの変動、c) 製品競争力、d) 法的規制、e) 知的財産保護の限界などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

VISION 2030

あらゆる表面をカガクで変える